

事業所名 医療法人緑樹会グリーンビュー鯉山
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成19年 8月10日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 デイサービスセンター管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士
B:現職 簡易郵便局経営
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、要介護認定調査員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>「私たちの誓い」という理念は、『1 尊重の心、2 支援の心、3 追求の心、4 奉仕の心』と、四つの心から成り立っている。</p> <p>入居者を人生の先輩として畏敬の念を持って接し、一人ひとりの自尊心を傷つけることなく、プライバシーを大切にしてお過ごしていただくように努めている。</p> <p>自分の力でできることが増えるように、夫々が役割を持って相互に助け合える暮らしを支援している。</p> <p>認知症の進行を妨げ、防止し、誇りを持って過ごしていただくよう取り組んでいる。</p> <p>病気であっても可能な限り受け入れ、入居者がしたいことや望むことを抽出し、普通に生活できるように励んでいる。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が暮らしている生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>居室、居間に続く芝生の庭、そこから鯉山まで青々とした稲田が広がっており、恵まれた立地環境に加え、室内には明るく淡い色彩のインテリア、常設しているミネラル水や空気清浄器、メドマなどの物療設備のあるリハビリコーナーなど、健康面にも配慮した落ち着いた空間作りがなされている。</p> <p>接面でも、スーパーバイザーによる勉強会や外部研修などで職員のレベルアップを図っており、職員の洗練された感さある落ち着いた態度からは自信と余裕がうかがえた。</p> <p>「心」に焦点を置いて、個々の思い(要望や希望)を汲み取ることに取り組んでおり、一人ひとりのスタイルに合わせて生活、要望に出来るだけ沿うようにし、強要はしないという姿勢が確立されている。</p> <p>些細な体調の変化もキャッチできるように、職員間の連携を図っている。生活のリズム作りに重点を置き、フットケアにも力を入れ、爪の様子からむくみなどの体調の兆しも見逃さないようにしている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
「真かぬぶく吉備の中山 おひにせるほそたに川の音のさやけさ」と古今集にも歌われている、古代吉備の国の中心、中山のふもとに位置し、JR吉備津駅からは徒歩数分、バス停からもすぐという交通至便の場所にホームはある。
運営する医療法人は、医療機関を中心に介護保険関連のサービスを展開している。入居者の命と健康を預かるという医療体制が確立しており、入居者・家族からの信頼は絶大である。
人工透析が必要な入居者が数名おり、看護師の健康管理のもとで、透析を受けていても、安心してホーム生活をを楽しんでいる。
法人代表者は、日に一度は入居者の様子を見にホームを訪れるなど、入居者の健康管理やメンタルケアに力を注ぐ一方、職員のメンタル面にも大いに配慮し、職員が仕事や人間関係での悩みを抱え込まないよう取り組んでいる。
研修制度が充実している。代表者自らが医療についての研修会を実施し、スーパーバイザーの導入もあいまで職員の質の向上が著しく、また、職員全体が落ち着いており、余裕がある。ホーム内は明るく穏やかな雰囲気、とても居心地が良い。
特に改善の余地があると思われる点(記述)
特に改善点は見受けられない。現在のスタッフの質を維持し、益々向上されることを期待する。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの方と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>入居者のバックグラウンドの情報収集については言うまでもないが、職員の担当に「回診係」があり、一人ひとりにゆったりと関わりながら傾聴し、様々な声を吸い上げている。「真の声」は回診ノートに記録されており、継続する毎に、段々と入居者の本心が引き出されていく経緯がうかがえる。そんな「真の声」を日課や行事、日々の生活に生かしている。</p> <p>一人ひとりのできること、したいことは、日々の生活の中で実践されている。手芸や作業などで出来上がった作品は、居室や玄関、リハビリルームに展示され、達成感や充実感を感じて次への意欲へと繋がっていくよう配慮している。</p> <p>「プライバシーを守る」ということについて、職員全体で取り組んでいる。入居者は人生の先輩であり、自尊心を傷つけるようなことがあってはならないとの考えが職員に浸透している。居室へ入る時はノックをする、プライベートなどは他の方の目や耳に触れないようにするなど徹底して行われている。個人ファイルの表紙には個人名は記載されており、細部に至るまで配慮があった。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>代表者やスーパーバイザーの指導のもと、ケアの質の向上に向け、職員全員のレベルアップに力を入れている。内部研修では、職員自身の心のケアに始まり、医療的な研修まで幅広く行っている。全職員が入居者全員の介護に必要な情報を知らないことがないようというスタンスで継続している。外部研修については、研修してきたことについて勉強会を開催して職員全員に周知するようにしている。</p> <p>ヒヤリハット、アクシデント・インシデント事項などは、全員で話し合う機会を持ち、皆で注意し合うようにしている。リスクマネジメントの担当者もあり、危機意識が高く、常に観察を心がけて事故を未然に防ぐ態勢がある。</p> <p>感染や食中毒についても、手洗い・うがいの励行や食事前の手指の消毒、下痢便や嘔吐物の処理等に至るまでマニュアルを作成し、職員の意識向上の研修を行っている。また、職員の健康管理にも気を配っている。</p> <p>運営推進会議は、2ヶ月に一度、定期的に行われており、入居者・家族を中心に行政や地域の方たちを巻き込んで推進されている。民生委員や地域の協力委員の方たちとのネットワーク作りにも努力しており、緊急時・災害発生時などにも心強い。</p>		